

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			8年 2月 27日	
下関市こども発達センター はたぶ園		利用児童数			(1) 8年 1月 31日 回収数 1	
チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。		1		・助言内容が、職員体制や教育内容の関係で取り入れにくいことがあるということを理解して欲しい。	・園の状況は理解した上で取り入れられる範囲のことを提案させて頂く。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			・個に対する支援に関しては、知識技術が豊富だと感じる。		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1			・対象児についての情報を丁寧に説明していただけることはありがたいと思っている。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。		1		・園は園なりの課題意識を持って支援をしている。訪問支援の助言が園の教育と合致しないこともあった。訪問回数はいくら少なくても良い。	・園側との意見のすり合わせを行っていく。訪問回数は引き続き相談しながら実施。	
5 事業所からの支援に満足していますか。		1		・保育内容についての助言が受け入れ難い内容であったことがある。	・その都度、園側との意見のすり合わせが必要。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<p>・幼稚園では、幼稚園教育要領に基づき教育課程・指導計画が作成されている。その中で支援の必要な幼児へ配慮しながら保育を展開しているのだが、残念ながら園生活に適應できるまで成長していないまま入園を発達センターが勧めきて、受け入れた現場で対象児も教員も苦慮しているという話を耳にすることが増えたと感じる。対象児が園の教育活動の中で支援を受けながら成長していけるのかを十分考えて入園を勧めたい。</p> <p>・幼稚園の教育課程・指導計画に即した保育を展開する中で、定型発達児も支援の必要な用事も互いに刺激を受けながら成長していけるよう園なりに一生懸命考えて保育指導をしている。支援の方法は発達センターの方法と異なることがあるということを理解していただきたい。集団生活を送る園に於いてできることは限られている。</p> <p>・保護者支援についても同様。保護者の思いを受容する大切さを十分理解できているつもりだと考えている。しかし、それだけで良いのかと疑問に思うことも多い。次のステップにつながるようスモールステップで指導しているのだが、発達センターでやってもらっている支援を同じようにしてもらおうと考えている保護者もいるため、園では対応に苦慮することがある。幼稚園は福祉施設ではないということを理解していただき、保護者にも正しく伝えていただくとありがたい。</p> <p>・訪問支援事業の日程調整についての電話は、保育時間中は避けて欲しい。(8:30~14:00) また、電話で日程調整する際は、担任ではなく必ず園長と話して決定することが本筋だと思えることが度々あった。</p>				<p>・地域の園生活に適應出来るであろうと考えて勧めているが、実際にうまくいかないケースもあると思われる。ケースによっては事前の情報共有をしっかりと行うことも必要な場合もある。</p> <p>・園の支援方法とセンターの方法が異なることがあると、理解している。押し付けるつもりはなく、提案させて頂いている。</p> <p>・保護者の思いだけでなく、園側の考えも聞いた上で伝えていくことが出来ればと思う。</p> <p>・指摘されている通りにやっているが・・・。</p>		